

1) - 1 基礎科目群

基礎科目群の目的は、大学教育を受けるための基礎を養うとともに、本学の理念の理解および実現への姿勢を整えることにある。基礎科目群は、基礎科目、英語科目、第二外国語科目、スポーツ科目、キリスト教関連科目、キャリア教育科目、地域学、サービスマーケティング、海外研修からなっている（表2-1参照）。なお、留学生の語学の履修については、P.299～305を参照し、教育支援課または教務担当教員の指導を受けること。

表2-1 基礎科目群

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期		対象学年	履修形態 履修	備考
			必修	選択	春学期	秋学期 その他			
基礎科目	CHRI-0-100	キリスト教概論A	2		○		1		留学生用科目 ※認定用科目 } 選択必修 高一種・中一種免許取得者は必修
	CHRI-0-100	キリスト教概論B	2			○	1		
	INTD-0-100	基礎教育入門(書き方)	1		○	○	1	演習	
	INTD-0-100	基礎教育入門(留学生用書き方)	1			○	1	演習	
	COMM-0-100	基礎教育入門(話し方)	1		○	○	2	演習	
	COMM-0-100	情報基礎	2		○	○	1		
	COMM-0-100	情報リテラシー	2				※ 1		
	INTD-0-100	日本国憲法		2	○	○	1~		
	INTD-0-100	アカデミックライティング		1			休講 1		
	INTD-0-400	Special Lecture Series		2		○	2~		
基礎科目	ECA-0-100	ECA(Speaking) I	2		◎	◎	1	演習	2018年度入学生用 2017年度入学生用 2018年度入学生用 2017年度入学生用 2017年度入学生用
	ECA-0-100	ECA(英語基礎表現)	1		○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Reading) I	1		○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Speaking) II		2	◎	◎	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Reading) II		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Cinema)A		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Cinema) I		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Cinema)B		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Cinema) II		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Cinema) III		1			閉講 1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Culture)		1	○	○	2	演習	
	ECA-0-100	ECA(English through Songs)A		1	○		1	演習	
	ECA-0-100	ECA(English through Songs)B		1		○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Pleasure Reading)A		1	○		1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Pleasure Reading)B		1		○	1	演習	
	ECA-0-200	ECA(English for <i>Omotenashi</i>)		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-200	ECA(Travel English)		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Basic TOEIC)A		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Basic TOEIC)B		1	○	○	1	演習	
	ECA-0-100	ECA(Basic Grammar)		1	○	○	1	演習	
ECA-0-100	ECA(やり直しの発音)		1	○	○	1	演習		
ECA-0-200	ECA(Business)		1	○	○	2	演習		
ECA-0-100	ECA(Global Understanding)		1	○	○	1	演習		
ECA-0-100	ECA(留学生のための英語)		1	○	○	1	演習		
ECA-0-100	ECA(Advanced English)		4			※ 1			
第二外国語科目 I	FRLN-0-100	ドイツ語 I	2	◎	◎		1	演習	履修条件あり {(P117英語科目履修条件 一覧を参照) ※認定用科目
	FRLN-0-200	ドイツ語 II	2		◎		1	演習	
	FRLN-0-100	フランス語 I	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-200	フランス語 II	2		◎		1	演習	
	FRLN-0-100	スペイン語 I	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-200	スペイン語 II	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-100	イタリア語 I	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-200	イタリア語 II	2		◎		1	演習	
	FRLN-0-100	中国語 I	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-200	中国語 II	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-100	韓国語 I	2	◎	◎		1	演習	
	FRLN-0-200	韓国語 II	2	◎	◎		1	演習	

備考欄*印：履修する場合は、英語科目履修条件一覧（P.117）記載の前提科目を修得済みのこと。

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期			対象学年	履修形態	備考
			必修	選択	春学期	秋学期	その他			
第 二 外 国 語 基 礎 目 録 科 目 群	FRLN-0-100	日本語 1 (文字語彙) A		2	○			1～	演習	○印通1回授業 ◎印通2回授業
	FRLN-0-100	日本語 1 (文字語彙) B		2	◎			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (総合) A		2	◎			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (総合) B		2	◎			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (文章表現)		2	◎			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (口頭表現)		1	○			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (応用漢字)		1	○			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (文法)		1	○			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 (アカデミックスキル)		1	○			1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 A		1		○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 B		1		○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 C		1		○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 1 D		1		○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (文字語彙) A		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (文字語彙) B		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (文章表現) A		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (文章表現) B		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (口頭表現)		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (試験対策) A		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (試験対策) B		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 2 (日本語ICT)		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	アカデミックジャパニーズ		2	◎	◎		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 3 (文字語彙) A		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 3 (文字語彙) B		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 3 (文章表現)		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 3 (口頭表現)		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 3 (試験対策)		1	○	○		1～	演習	
	FRLN-0-100	日本語 4 (文字語彙) A		1	○	○	※	演習		
	FRLN-0-100	日本語 4 (文字語彙) B		1	○	○	※	演習		
	FRLN-0-100	日本語 4 (文章表現)		1	○	○	※	演習		
	FRLN-0-100	日本語 4 (口頭表現)		1	○	○	※	演習		
	FRLN-0-100	日本語 4 (試験対策)		1	○	○	※	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (基礎文法) A		1	○			1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (基礎文法) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (表現文型) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (表現文型) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (総合) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (総合) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (調査・発表) A		1	○			1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (調査・発表) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (文章表現) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 1 (文章表現) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (文法) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (文法) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (総合) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (総合) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (調査・発表) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (調査・発表) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (文章表現) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (文章表現) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (音声表現理解) A		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 2 (音声表現理解) B		1	○	○		1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (調査・発表) A		1			閉講	1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (調査・発表) B		1			閉講	1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (ビジネス日本語) A		1			閉講	1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (ビジネス日本語) B		1			閉講	1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (小説で学ぶ)		1			閉講	1～	演習		
FRLN-0-100	日本語 3 (ニュースで学ぶ)		1		○		1～	演習		

2018年度入学生用

※春学期～/秋学期～

2017年度入学生用

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期			対象学年	履修形態	備考	
			必修	選択	春学期	秋学期	その他				
	FRLN-0-100	日本語 3 (ドラマで学ぶ)		1				閉講	1～	2017年度入学生用	
	FRLN-0-100	日本語 3 (創作で学ぶ)		1				閉講	1～		
スポーツ科目	PED-0-100	健康・体づくり実習 A		1	○				1～	実技	
	PED-0-100	健康・体づくり実習 B		1		○			1～	実技	
	PED-0-100	生涯スポーツ実習 A		1	○				1～	実技	
	PED-0-100	生涯スポーツ実習 B		1		○			1～	実技	
基礎科目	CHRI-0-200	聖書の世界 A		2	○				2	隔年開講	
	CHRI-0-200	聖書の世界 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	イングリッシュ・バイブル A		2			休講		2		
	CHRI-0-200	イングリッシュ・バイブル B		2			休講		2		
	CHRI-0-200	日本キリスト教史 A		2			休講		2		
	CHRI-0-200	日本キリスト教史 B		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教と歴史形成 A		2	○				2		
	CHRI-0-200	キリスト教と歴史形成 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	キリスト教思想史 A		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教思想史 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	キリスト教と国際社会 A		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教と国際社会 B		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教と日本社会 A		2	○				2		
	CHRI-0-200	キリスト教と日本社会 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	キリスト教とアメリカ文化 A		2	○				2		
	CHRI-0-200	キリスト教とアメリカ文化 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	キリスト教とアジア文化 A		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教とアジア文化 B		2			休講		2		
	CHRI-0-200	キリスト教と文学 A		2	○				2		
	CHRI-0-200	キリスト教と文学 B		2		○			2		
	CHRI-0-200	キリスト教と自然科学 A		2	○				2		
	CHRI-0-200	キリスト教と自然科学 B		2		○			2		
	関連科目	CHRI-0-200	キリスト教と音楽 A		2	○					2
		CHRI-0-200	キリスト教と音楽 B		2		○				2
CHRI-0-200		キリスト教音楽史 A		2	○				2		
CHRI-0-200		キリスト教音楽史 B		2		○			2		
CHRI-0-200		キリスト教と美術 A		2			休講		2		
CHRI-0-200		キリスト教と美術 B		2			休講		2		
CHRI-0-200		キリスト教と福祉活動の実際 A		2	○				2		
CHRI-0-200		キリスト教と福祉活動の実際 B		2		○			2		
CHRI-0-200		キリスト教カウンセリング論		2		○			2		
CHRI-0-200		キリスト教と心のケア		2			休講		2		
群		CRED-0-100	時事問題演習		1	○				1	演習
		CRED-0-100	図表理解		1		○			1	演習
	CRED-0-200	キャリアデザイン	1		○	○			2	演習	
	CRED-0-200	ビジネス・ライティング		1		○			2～	演習	
	CRED-0-200	ビジネス・コミュニケーション		1		○			2～	演習	
	CRED-0-200	ビジネス・プレゼンテーション		1		○			2～	演習	
	CRED-0-300	業界・企業研究		1	○	○			3～	演習	
	CRED-0-300	インターンシップ I (事前学習)		2			休講	*		※春学期：3～/秋学期：2～	
	CRED-0-300	インターンシップ II (実習)		2			休講		1～	実習	
	CRED-0-100	インターンシップ II (留学生)		2			休講		1～	実習	
	INTD-0-100	海外インターンシップ A		4					1～		
	INTD-0-100	海外インターンシップ B		4					1～		
	INTD-0-100	海外インターンシップ C		2					1～		
	INTD-0-100	海外インターンシップ D		1					1～		
	CRED-0-300	ビジネス日本語対策講座 A		1	○				3～	演習	
	CRED-0-300	ビジネス日本語対策講座 B		1		○			3～	演習	

科目 区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	単位		開講期			対象 学年	履修 形態	備 考	
			必修	選択	春学期	秋学期	その他				
基 礎 科 目 群	地域学・サービスラーニング・海外研修(2017年度入生はその他)	AREA-0-100	地元学		2		○		1～		○印週1回授業 ◎印週2回授業
		AREA-0-100	宮原地域学		2	○			1～		
		INTD-0-100	釜石学		2	○			1～		
		CRED-0-200	コミュニティサービスラーニングⅠ		2	○			2～		
		CRED-0-200	コミュニティサービスラーニングⅡ		2		*	集中	2～	実習	
		CRED-0-100	ボランティア体験の言語化技法と実践		2	○			1～		
		PANT-0-100	被災地支援・インターンシップA		4				1～		
		PANT-0-100	被災地支援・インターンシップB		2				1～		
		PANT-0-100	被災地支援・インターンシップC		1				1～		
		AREA-0-100	地域活動実習A		4				1～	実習	
		AREA-0-100	地域活動実習B		2				1～	実習	
		AREA-0-100	地域活動実習C		1				1～	実習	
		CCOM-0-100	アメリカ文化演習A		4			休講	1～	演習	
		CCOM-0-100	アメリカ文化演習B		2			休講	1～	演習	
		CCOM-0-100	オーストラリア文化演習		4	*		集中	1～	演習	
CCOM-0-100	カナダ文化演習		4		*	集中	1～	演習			
CCOM-0-100	海外文化演習		4	*		集中	1～	演習			

1. 英語科目について

必修科目は指定されたクラスで履修すること。英語科目の履修条件は表2-2の通りである。

表2-2 英語科目履修条件

科目名	単位	対象学年	備考
ECA(Business)	1	2	ECA(Speaking) I、ECA(Reading) Iを修得済 *
ECA(Global Understanding)	1	1	ECA(Speaking) I、ECA(Reading) Iを修得済 *
ECA(留学生のための英語)	1	1	英語学習歴1年未満、または TOEIC Bridge 88点以下

*印の科目については TOEIC 300点以上である学生は、前提科目または学年の条件を満たしていない場合でも、履修を認めることがある。

2. 語学科目（選択必修）について

- ① 英語（必修を除く）または第二外国語、「古典日本語Ⅰ・Ⅱ」（専門科目群の文学・語学系）より、**8単位選択履修**すること。
- ② 選択する8単位の内、第二外国語あるいは「古典日本語」を選択するものは、いずれか一科目は必ずⅠ・Ⅱを併せて履修しなければならない。
- ③ ローマ数字が記載されている科目は**ステップアップ制**でありⅠ・Ⅱ・Ⅳの順に履修すること。
- ④ 海外文化交流研修（アジア）A・Bの履修を望むものは、「韓国語」「文化交流史（アジアと日本）」を履修することが望ましい。

3. 留学生の語学科目について

1) 基礎科目として履修すべき単位数

学科別 履修科目・単位数一覧

レベル	科目	単位	合計	備考
1	日本語	20	20	日本語のレベル1の科目(10単位、)レベル2の科目(10単位)をすべて履修する
2	日本語	10	20	
	日本語または本学開講の外国語	10		
3	日本語	8	14	自由選択科目を27単位修得すること
	日本語または本学開講の外国語	6		

- ① 留学生は日本語が必修である。卒業に必要な単位数は上記単位数一覧を参照。
- ② 日本語能力に応じて課程が指定されているので、定められたクラスで履修すること。(詳細はP.299～305)
- ③ 上記の日本語必修単位の他に、日本語または第二外国語、古典日本語Ⅰ・Ⅱ(専門科目群の文学・語学系)より4単位選択履修すること。
- ④ 古典日本語Ⅰ・Ⅱについては、日本語課程レベル3と並行履修してもよい。
- ⑤ ローマ数字が記載されている科目は**ステップアップ制**でありⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの順に履修すること。
- ⑥ 留学生の外国語の履修については、P.299～305を参照し、必ず教育支援課か教務担当教員の指導を受けること。
- ⑦ 留学生が履修可能な外国語は母語および母国語以外の言語に限る。

※2018年度入学生については、P.299～305の「留学生が外国語を履修する方法」を参照すること。

2) 日本語課程の開設科目と履修方法

表2-3 日本語課程開設科目一覧 (2018年度入学留学生用)

基礎前期課程入学生用

課程	科目記号- 学科コード番号	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (無印は講義)	備考
				春学期	秋学期	その他			
基礎 前期	WLAG-0-100	日本語1(文字語彙)A	2	◎			1~		○印週1回授業 ◎印週2回授業
	WLAG-0-100	日本語1(文字語彙)B	2	◎			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(総合)A	2	◎			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(総合)B	2	◎			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(文章表現)	2	◎			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(口頭表現)	1	○			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(応用漢字)	1	○			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(文法)	1	○			1~		
	WLAG-0-100	日本語1(アカデミックスキル)	1	○			1~		
	WLAG-0-100	日本語1A	1		○		1~	} 再履修用	
	WLAG-0-100	日本語1B	1		○		1~		
	WLAG-0-100	日本語1C	1		○		1~		
	WLAG-0-100	日本語1D	1		○		1~		
	基礎 後期	WLAG-0-100	日本語2(文字語彙)A	1	○	○		1~	
WLAG-0-100		日本語2(文字語彙)B	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(文章表現)A	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(文章表現)B	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(口頭表現)	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(試験対策)A	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(試験対策)B	1	○	○		1~		
WLAG-0-100		日本語2(日本語 ICT)	1	○	○		1~		
通常 課程	WLAG-0-100	アカデミックジャパニーズ	2	◎	◎		1~		
	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)A	1	○	○		2~	} ※日本語10の単位をすべて修得済みであること	
	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)B	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語3(文章表現)	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語3(口頭表現)	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語3(試験対策)	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)A	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)B	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語4(文章表現)	1	○	○		2~		
	WLAG-0-100	日本語4(口頭表現)	1	○	○		2~		
WLAG-0-100	日本語4(試験対策)	1	○	○		2~			

基礎後期課程入学生用

課程	科目記号- 学科コード番号	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (無印は講義)	備考
				春学期	秋学期	その他			
基礎 後期	WLAG-0-100	日本語2(文字語彙)A	1	○	○		1~	○印週1回授業 ◎印週2回授業	
	WLAG-0-100	日本語2(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(文章表現)A	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(文章表現)B	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(口頭表現)	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(試験対策)A	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(試験対策)B	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語2(日本語 ICT)	1	○	○		1~		
通常 課程	WLAG-0-100	アカデミックジャパニーズ	2	◎	◎		1~	} ※日本語20の単位をすべて修得済みであること	
	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)A	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語3(文章表現)	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語3(口頭表現)	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語3(試験対策)	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)A	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)B	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語4(文章表現)	1	○	○		1~		
	WLAG-0-100	日本語4(口頭表現)	1	○	○		1~		
WLAG-0-100	日本語4(試験対策)	1	○	○		1~			

通常課程入学生用

課程	科目記号 学科コード-番号	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	授業形態 (無30分講義)	備考	○印週1回授業 ◎印週2回授業
				春学期	秋学期	その他				
通常 課程	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)A	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語3(文字語彙)B	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語3(文章表現)	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語3(口頭表現)	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語3(試験対策)	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)A	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語4(文字語彙)B	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語4(文章表現)	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語4(口頭表現)	1	○	○		1~			
	WLAG-0-100	日本語4(試験対策)	1	○	○		1~			

表2-3 日本語課程開設科目一覧(2017年度入学留学生用)

課程	授業科目の名称	単位	開講期			対象 学年	備考	○印週1回授業 ◎印週2回授業	
			春学期	秋学期	その他				
レベル0	日本語(基礎)1A	7	*	*		1~	} ※卒業要件外		
	日本語(基礎)1B	7	*	*		1~			
	日本語(基礎)2A	7	*	*		1~			
	日本語(基礎)2B	7	*	*		1~			
	日本語(基礎)2C	14	*	*		1~		} ※卒業要件内(自由選択科目として)	
	日本語(基礎)3	4	*	*		1~			
レベル1	日本語1(基礎文法)A	1	○			1~			
	日本語1(基礎文法)B	1	○	○		1~			
	日本語1(表現文型)A	1	○	○		1~			
	日本語1(表現文型)B	1	○	○		1~			
	日本語1(総合)A	1	○	○		1~			
	日本語1(総合)B	1	○	○		1~			
	日本語1(調査・発表)A	1	○			1~			
	日本語1(調査・発表)B	1		○		1~			
	日本語1(文章表現)A	1	○	○		1~			
	日本語1(文章表現)B	1	○	○		1~			
レベル2	日本語2(文法)A	1	○	○		1~			
	日本語2(文法)B	1	○	○		1~			
	日本語2(総合)A	1	○	○		1~			
	日本語2(総合)B	1	○	○		1~			
	日本語2(調査・発表)A	1	○	○		1~			
	日本語2(調査・発表)B	1	○	○		1~			
	日本語2(文章表現)A	1	○	○		1~			
	日本語2(文章表現)B	1	○	○		1~			
	日本語2(音声表現理解)A	1	○	○		1~			
	日本語2(音声表現理解)B	1	○	○		1~			
レベル3	日本語3(調査・発表)A	1			閉講	1~			
	日本語3(調査・発表)B	1			閉講	1~			
	日本語3(ビジネス日本語)A	1			閉講	1~			
	日本語3(ビジネス日本語)B	1			閉講	1~			
	日本語3(小説で学ぶ)	1			閉講	1~			
	日本語3(ニュースで学ぶ)	1		○		1~			
	日本語3(ドラマで学ぶ)	1			閉講	1~			
	日本語3(創作で学ぶ)	1			閉講	1~			

- ① レベル1、2、3はステップアップ制である。
- ② 日本語能力をレベル1と判断された者は、レベル1の科目をすべて履修してからレベル2に進む。
- ③ 日本語能力をレベル2と判断された者は、レベル2の科目をすべて履修してからレベル3に進む。
上記のように履修することを原則とするが、やむを得ない事情で各レベルで不足している科目が2単位までなら、並行履修をする。ただし、レベル1の科目を履修し終わらないうちに、レベル3の科目を履修することはできない。

4. スポーツ科目について

- ① 健康・体力づくり実習 A・B および生涯スポーツ実習 A・B は、競技内容を選択して履修することができる。開講される競技はシラバス等で確認すること。
- ② 同じ競技でも科目名称が異なれば複数回履修できるが、異なる競技でも科目名称が同じ科目は複数回履修することはできない。

5. キリスト教関連科目について

キリスト教関連科目の目的は、本学の建学の精神と理念への理解を深め、かつ国内外において、政治、経済、倫理、環境等に多くの危機的問題が叫ばれている状況の中で、キリスト教との関連において人間性の根源を探り、また正しく理解することをめざすものである。

キリスト教関連科目の中から、合計 4 単位を選択必修として履修すること。

(2 年次春学期 2 単位、2 年次秋学期 2 単位履修を登録すること。)

なお、キリスト教関連科目については、2 年次に 4 単位を超えて履修することは認められないが、3 年次以降は自由選択科目として履修することができる。